

平成28年8月24日

平成28年8月台風第9号による出水の概要（速報版）を とりまとめました

札幌開発建設部では、平成28年8月台風第9号による出水の概要（速報版）について、別紙のとおりまとめましたので、お知らせします。

札幌開発建設部管内では、8月23日からの台風第9号の影響により、流域各地で激しい雨が降りました。

このため、当部が管理する石狩川本川では、はん濫による浸水面積約120ヘクタール、浸水家屋6戸の被害が発生しました。

一方、これまで進めてきた河川整備や洪水調節施設によって出水時の水位低下が図られたほか、直轄排水機場を稼働させ、内水はん濫被害の防止・軽減を図ることができたため、その概要をお知らせします。

※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月24日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

河川計画課流域計画官 田代 隆志（電話番号 011-611-0329 ダイヤルイン）

河川管理課課長補佐 久保 徳彦（電話番号 011-611-0340 ダイヤルイン）

平成28年8月台風第9号による出水の概要

【速報版】

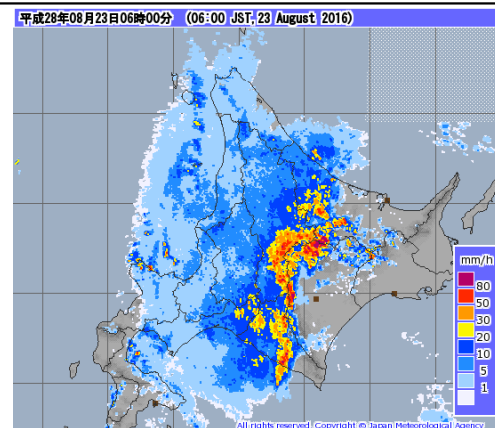
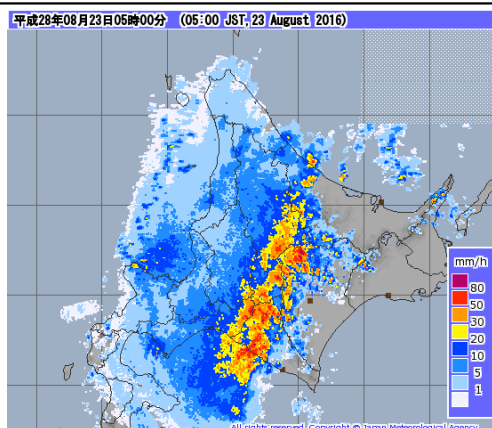
※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月24日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

国土交通省 北海道開発局
札幌開発建設部
平成28年8月24日

平成28年8月台風第9号による出水の概要

- 8月23日からの台風第9号の影響により、流域各地で激しい雨が降りました。上流域の美瑛町白金で191mm、層雲峡で116mmを観測。(アメダスから)
- 札幌開発建設部が管理する河川では、石狩川本川の^{おさむない}納内水位観測所では「はん濫危険水位」を超え、昭和56年洪水に次ぐ高い水位を記録。石狩川のほか、空知川などで「はん濫注意水位」を超える出水となりました。
- このため、当部が管理する石狩川本川の深川市納内町付近及び旭川市神居町^{かむいこたん}神居古潭において浸水面積約120ヘクタール、浸水家屋6戸のはん濫が発生しました。(開発局調べ)
- そうした状況ではありましたが、当部ではこれまで進めてきた河川整備や直轄ダム等の洪水調節施設によって出水時の水位低下を図ったほか、直轄排水機場を稼働させ内水はん濫被害の防止・軽減を図りました。
- また、当部では、地上からの河川巡視や水位・雨量の監視に加え、災害対策用ヘリコプター「ほっかい」により上空から状況調査を行ったほか、流域自治体へ当部職員を現地情報連絡員(リエゾン)として派遣しました。

※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月24日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。



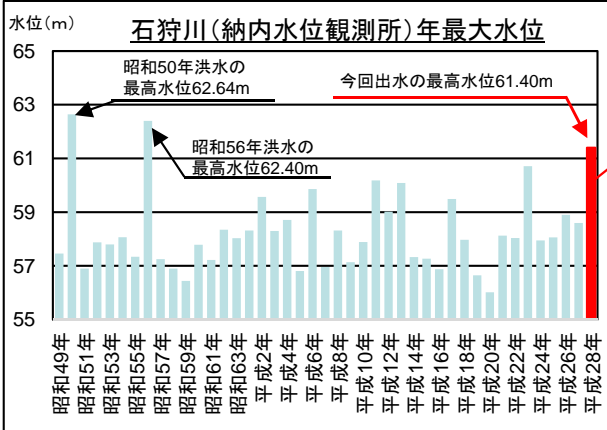
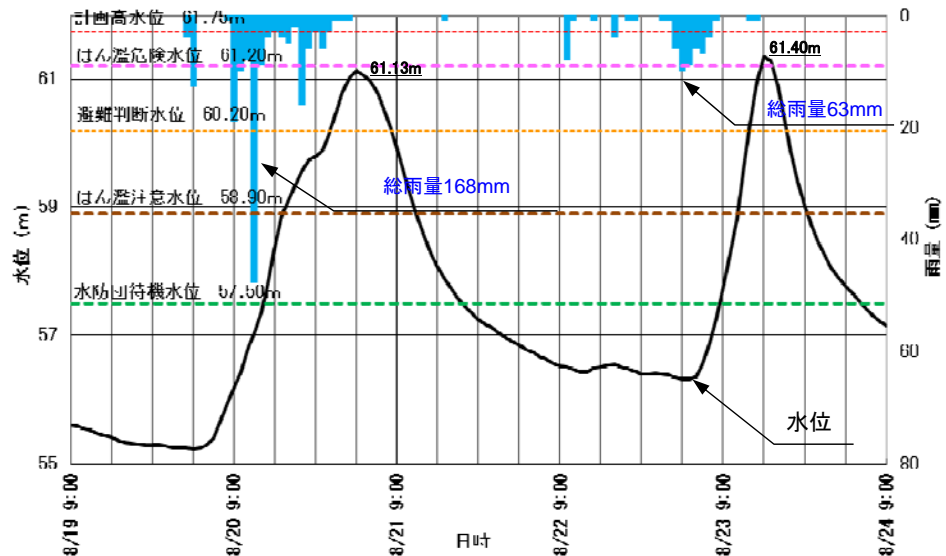
平成28年8月台風第9号による出水の概要

石狩川の降雨及び水位の状況

平成28年8月24日9時現在

石狩川 納内地点

水位流量観測所：納内【開発局】
雨量観測所：旭川【気象台】

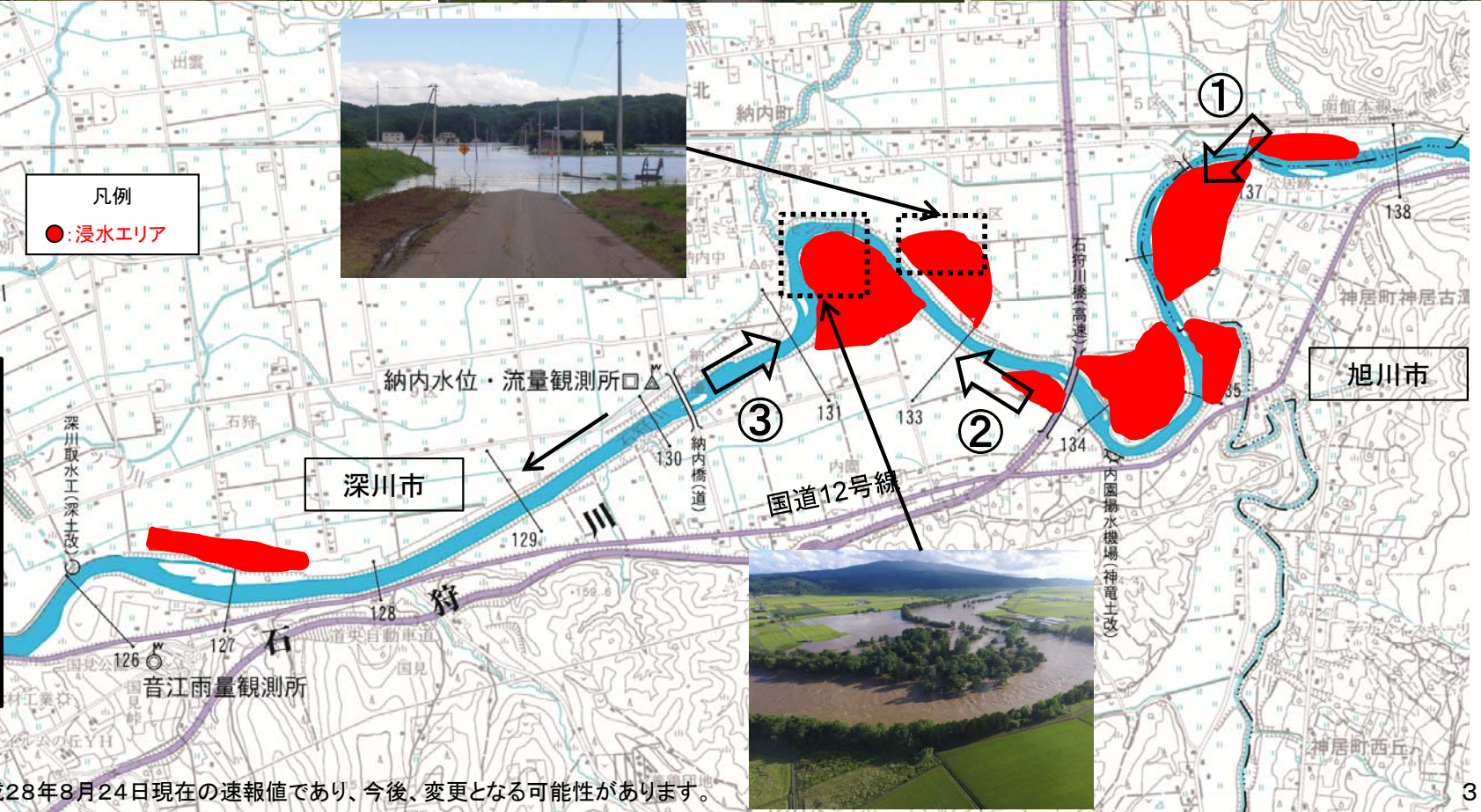


- **はん濫危険水位**
洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こるおそれのある水位
- **避難判断水位**
避難準備情報の判断、避難所の開設、要配慮者の避難判断の目安となる水位
- **はん濫注意水位**
水防機関が出動して水防活動を行う目安となる水位
- **水防団待機水位**
水防団が水防活動するため待機する水位

- 【基準水位を超過した観測所】 ※基準観測所のみ
- **はん濫危険水位超過：1 観測所**
(石狩川) 納内
 - **はん濫注意水位超過：5 観測所**
(石狩川) 奈井江大橋、
(空知川) 布部、赤平
(産化美唄川) 産化美唄
(夕張川) 円山
 - **水防団待機水位超過：8 観測所**
(石狩川) 橋本町、月形、石狩大橋、篠路
(雨竜川) 多度志
(嶮淵川) 嶮淵
(豊平川) 雁来
(厚別川) 厚別
- ※基準観測所以外で計画高水位を超過した観測所
(石狩川) 深川橋

深川市・旭川市周辺での浸水被害状況

○石狩川本川の深川市納内町付近および旭川市神居町神居古潭において、約120haの浸水と家屋6戸の浸水被害が発生しました。（開発局調べ） 現在、排水作業中。



※ 本速報に記載されている数値や図表は平成28年8月24日現在の速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

札幌開発建設部の取組①（浸水被害軽減のための活動状況（内水排除））

○河川水位の上昇に伴って内水による浸水が発生したため、札幌開発建設部の28箇所の直轄排水機場を稼働して内水排除を行い被害を軽減しました。



稼働箇所図

● 排水機場稼働箇所

28箇所



※28箇所の直轄排水機場において、合計で約887時間ポンプを稼働し、内水排除を実施。（8月20日からの累計）

平成28年8月24日
9時00分現在

河川名	市町村名	排水機場名	稼働時間
石狩川	月形町	月形排水機場	約52時間
	滝川市	滝川排水機場	約12時間
		池の前排水機場	約28時間
	深川市	深川排水機場	約5時間
	新十津川町	袋地排水場	約27時間
		下徳富排水場	約25時間
	新篠津村	新篠津排水機場	約7時間
豊平川	札幌市	雁来排水機場	約86時間
厚別川		厚別排水機場	約39時間
望月寒川		山本排水機場	約22時間
		創成川	世田谷排水機場
千歳川	長沼町	月寒排水機場	約6時間
		創成排水機場	約7時間
	恵庭市	南6号排水機場	約55時間
		南9号排水機場	約52時間
空知川	江別市	漁太川排水機場	約39時間
	江別市	泉の沼排水機場	約21時間
大鳳川	赤平市	早苗別排水機場	約58時間
江部乙川	赤平市	赤平排水機場	約35時間
旧夕張川	妹背牛町	小藤排水機場	約23時間
篠津川	滝川市	江別乙排水場	約26時間
	長沼町	馬追運河排水機場	約47時間
夕張川	江別市	篠津川排水機場	約70時間
		八幡排水機場	約11時間
旧美唄川	岩見沢市	幌向太排水機場	約59時間
須部都川	岩見沢市	旧美唄川救急排水場	約1時間
	月形町	大曲右岸救急排水場	約46時間

札幌開発建設部の取組②（情報収集及びダム操作、自治体への支援状況等）

- 札幌開発建設部では、24時間体制で気象及び河川の情報監視し、管理施設の操作を行いました。現地においては地上からの河川巡視及び監視に加え、ヘリコプターにより上空からの調査を行いました。
- 被災した自治体への支援や情報収集を目的として、深川市等に当部職員を現地情報連絡員（リエゾン）として派遣しました。
- 災害協定業者による、現地調査及び排水活動を実施しました。

深川市へのリエゾン派遣



災害対策用ヘリコプターによる上空からの調査



河川監視



空知総合振興局へのリエゾン派遣



災害協定業者による排水活動



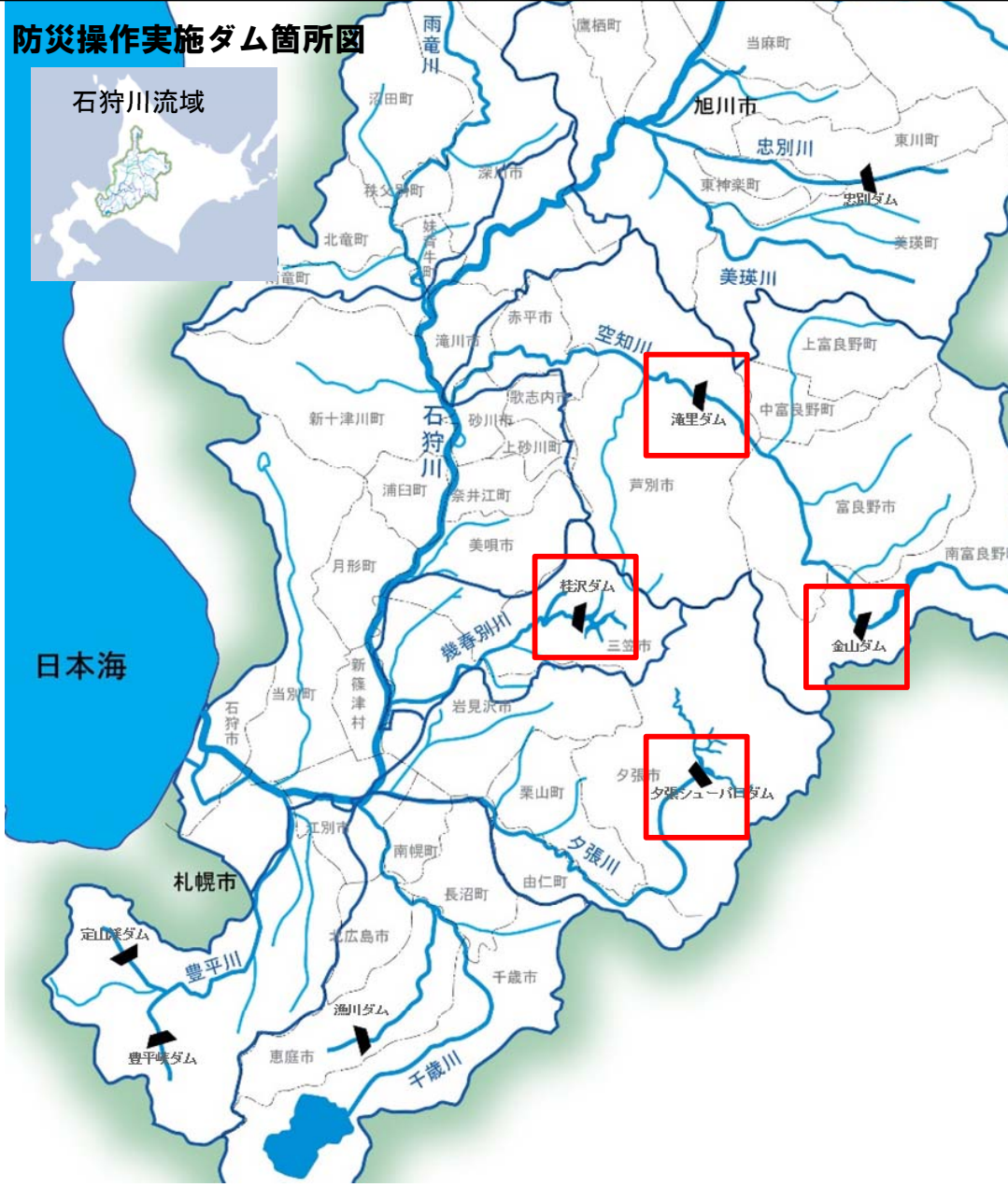
災害協定業者による現地調査



治水事業の効果① ダム群が効果を発揮(北海道 札幌開建管内)(国管理)

○石狩川支川の4ダムで防災操作を実施し、下流河川の水位の低下に効果を発揮。夕張シューパロダムではダム完成後、初の洪水の調節を実施し、滝里ダムでは完成以降、最大規模の洪水の調節を実施しました。

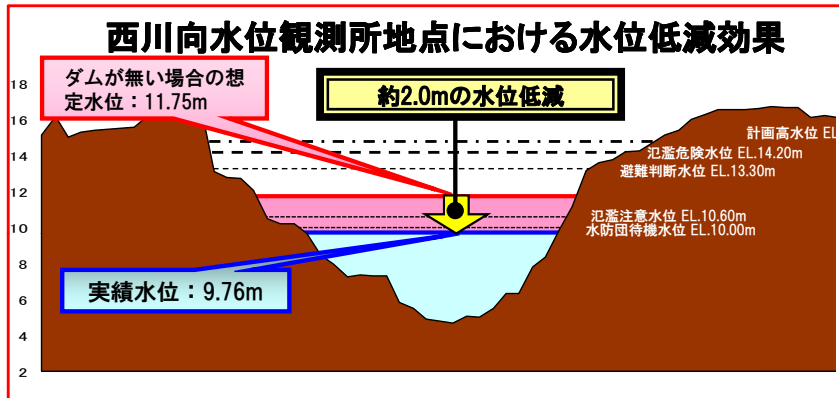
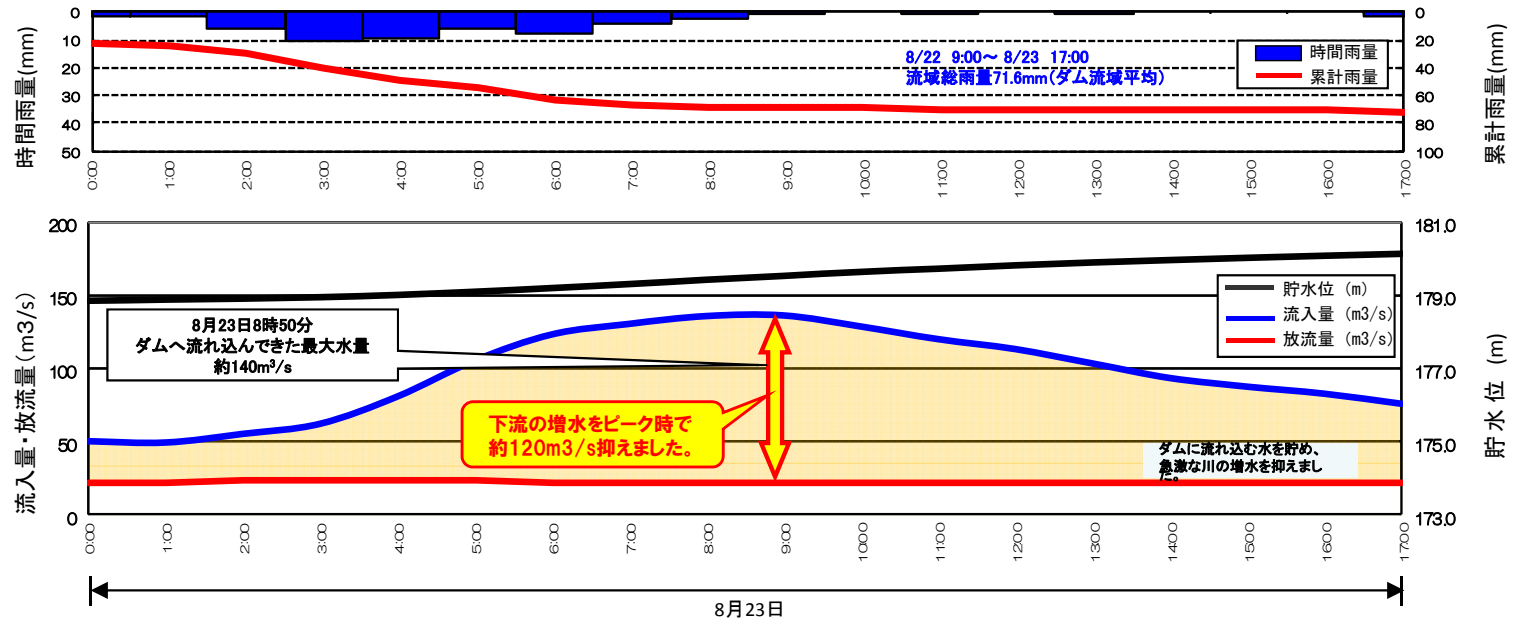
- 【防災操作実施ダム】**
- ・ 桂沢ダム
 - ・ 金山ダム
 - ・ 滝里ダム
 - ・ 夕張シューパロダム



治水事業の効果② ダム整備が効果を発揮(北海道 桂沢ダム)(国管理) かつらざわ

- 平成28年8月22日～23日の台風第9号に伴う降雨により、桂沢ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 桂沢ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の岩見沢市にしかわむかい(西川向水位観測所)では、水位を約2.0m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、氾濫注意水位*を上回る出水となったことが想定されます。

*氾濫注意水位：住民に対し、氾濫に関する情報への注意を喚起するための水位。



*本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

治水事業の効果③ ダム整備が効果を発揮(北海道 金山ダム・滝里ダム)(国管理)

かなやま たきさと

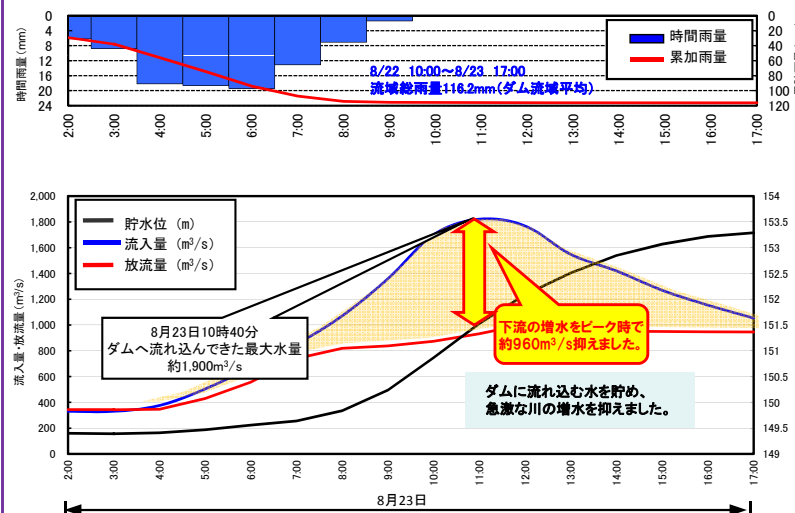
- 平成28年8月22日～23日の台風第9号による降雨により、滝里ダム及び金山ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 滝里ダム及び金山ダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の赤平市(赤平水位観測所)では、水位を約3.0m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮に滝里ダム及び金山ダムが整備されていなければ、氾濫危険水位※を上回る出水となったことが想定されます。

※ 氾濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫のおそれがある水位。

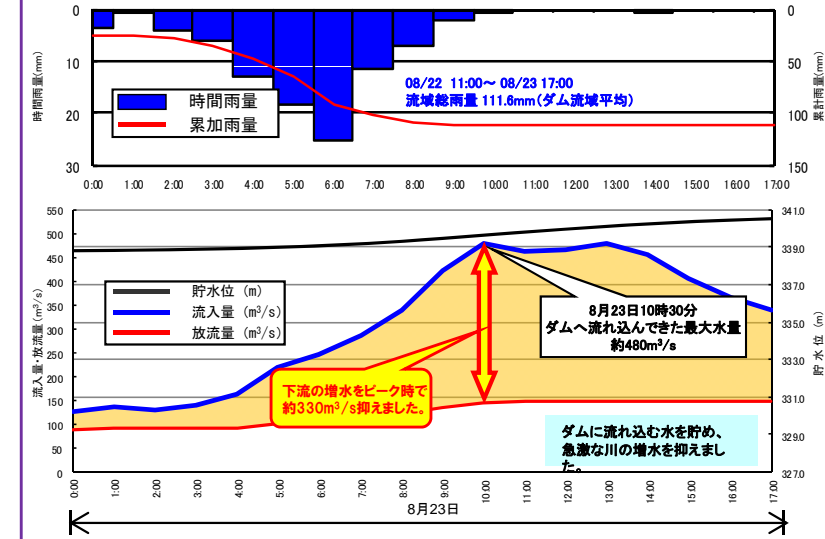
滝里ダム・金山ダム位置図



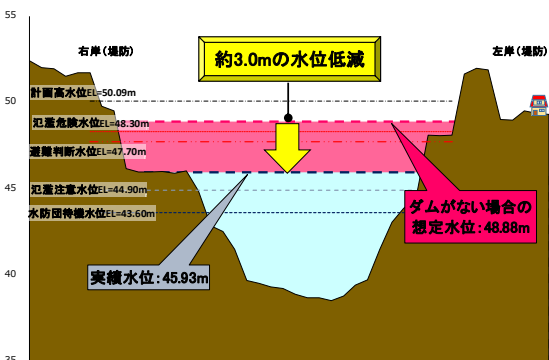
滝里ダムの防災操作



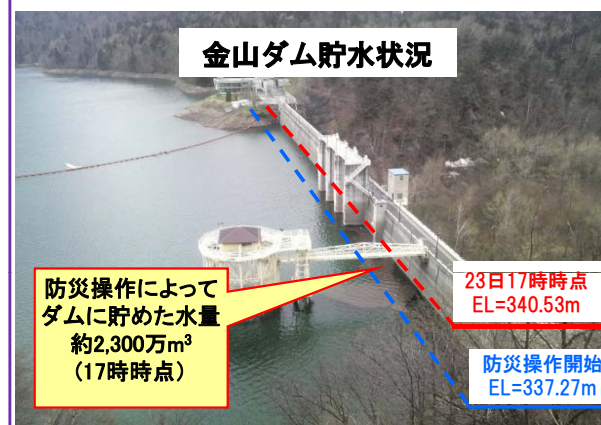
金山ダムの防災操作



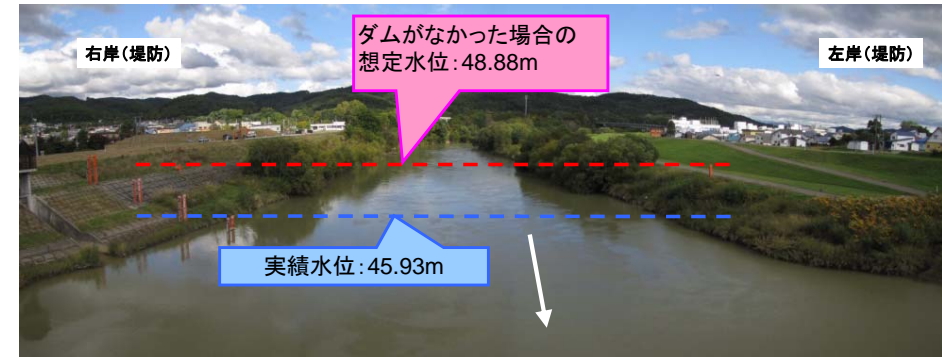
赤平水位観測所における水位低減効果



金山ダム貯水状況



赤平水位観測所付近



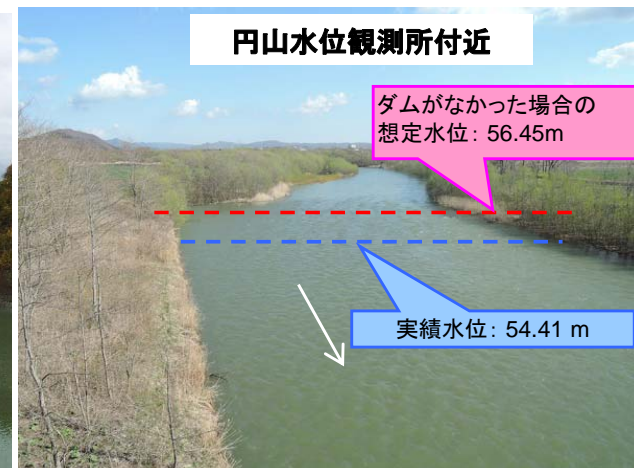
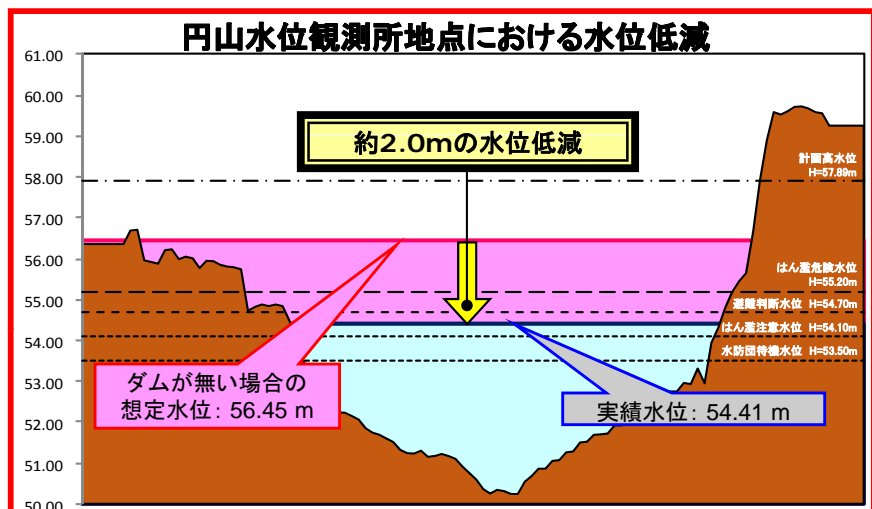
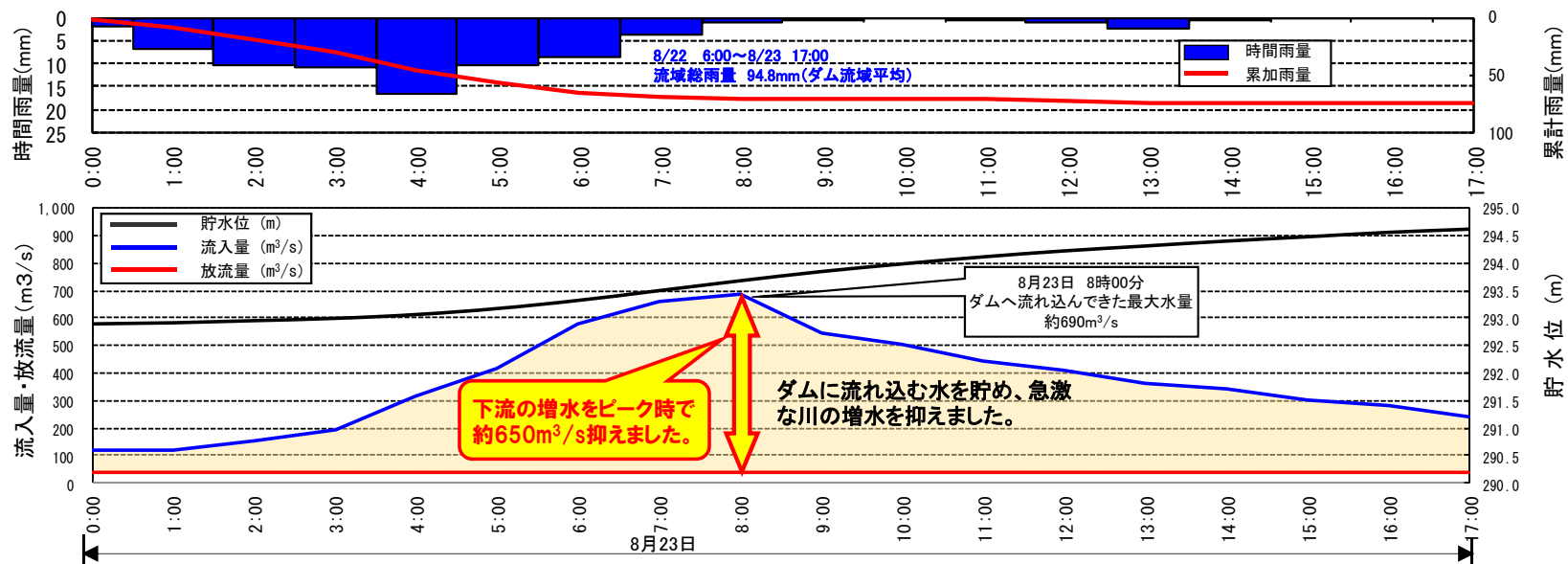
※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

治水事業の効果④ ダム整備が効果を発揮(北海道 夕張スーパーパロダム)(国管理)

ゆうばり

- 平成28年8月22日～23日の台風第9号に伴う降雨により、夕張スーパーパロダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 夕張スーパーパロダムの防災操作によって下流河川の水位低減を図り、下流の栗山町(円山水位観測所)では、水位を約2.0m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、氾濫危険水位*を上回る出水となっていたことが想定されます。

* 氾濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫の起こるおそれがある水位。



*本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。